

12月定例会の提出議案から

P.3

3  
常任委員会  
議案を審査

P.4～5

私はこう考える・市はどうする？  
一般質問に16名が登壇

P.7～15

議会が「グッと」近くなる

発行 2020年 2月1日 No.59

# つばめ市議会 ノートブック



Action 20

20名の議員が市民の代表として行動しています



燕市議会議長

丸山吉朗

## 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年中は、市議会活動に対しご支援とご協力、また、激励を賜り厚く御礼を申し上げます。

市議会といたしまして、議員一人ひとりが市民の皆様の多様なニーズをしっかりとくみ上げ市政に反映させることで、「三元代表制」の一翼を担う機関としての責務を果たし、市民の皆様と一体となって住みよいまちづくりに邁進したいと考えております。

燕市のポテンシャルは非常に高く、まだまだ発展の余地は十分にあると考えております。「令和」という新しい時代に即した品格のある議会運営に努め、燕市のポテンシャルが最大限発揮されるよう、議長として努力を惜しまぬ所存です。燕市の限らない発展のため、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸多き年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 7本の基本計画を協議

市の目指すべき全体像や方向性など、今後の施策の計画をまとめた各種計画の中間報告や新規作成、更新について議員協議会で協議が行われました。



指針となる7本の基本計画

- ① 燕市国土強靱化地域計画の策定
- ② 第2次燕市総合計画の中間評価・見直し
- ③ 第2期燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)
- ④ 燕市行政改革推進プランの中間評価・見直し
- ⑤ 第2期燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン(素案)
- ⑥ 第2期燕市子ども・子育て支援事業計画(素案)
- ⑦ 第2次燕市子ども読書活動推進計画(素案)





## ピックアップ

# 12月定例会の提出議案から

## 補正予算

### 「主な項目」

#### 〔歳出〕

#### 戸籍住民基本台帳費 戸籍住民基本台帳費

122万円

#### ●この補正の内容は

マイナンバーカード取得促進のため、臨時職員2名の賃金等の経費を計上したもの。申請時に必要な書類が多く、大きな負担となる。文章だけでなく図解説などの取り入れを検討し、普及活動を行う。



市役所に設置されているパンフレット

#### 子育て支援費 子どもの居場所整備事業

52万8000円

#### ●この補正の内容は

(仮称) b & g 燕吉田南メートの令和2年4月以降の運営開始に向けた準備(3月から新しい建物での開設準備)を行うための経費を計上するもの。

#### 生活保護総務費

#### 生活保護適正実施推進事業

467万円

#### ●この補正の内容は

昨年度制度改正した「就学準備給付金」「生命保険会社に照会する様式の統一」「生活保護の調査項目追加」の3点のシステム改修等を行う。

#### 障がい児通所支援費 障がい児通所支援費支給事業

362万3000円

#### ●この補正の内容は

増額となった経緯は、4月以降新たに市外に3カ所の放課後デイサービスを始め事業所ができ、市内のお子さん5名が通うようになったため。

#### 観光費

#### 産業史料館施設管理運営費

222万8000円

#### ●この補正の内容は

入館者の増加のため、体験工房館の利用が好調で体験の材料などの不足により増額したが、それ以上に体験参加費の収入が増えている。



にぎわいを見せる体験工房館

34本

#### ミニコラム 基本計画の話

## 「建前の役所」と「本音の議員」

市町村は、法に基づき計画書を策定しなければならないとされているが、燕市ではその数なんと34本。市が作成した計画書にかかった費用は、全部で約1億2200万円。中でも一番高いものは都市計画マスタープラン(15年間)で約3200万円にもなる。

#### ◆かみ合わない議論……

国・県の方針に基づいてつくられた計画は、金太郎飴のようにいずれの市町村もよく似ており、建前の文章が並ぶ。議員は本音で「こんな計画は無理だ」美辞麗句の建前論を指摘、批判するが「おっしゃるとおり」と言いながらも国・県の方針には逆らえない職員たちの答弁。建て前と本音のかみ合わない議論が続く。なぜこんなことをするかといえば、計画書がないと国・県の交付金や補助金がもらえないということだ。





# 議案を審査

## すべて可決すべき ものと決定

### 総務文教常任委員会

#### 「13項目を審査」

燕市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 9月議会で議決した会計年度任用職員(※)の給与及び費用弁償等に関する条例と改正時期がずれた理由について伺う。

答 会計年度任用職員については、重要な部分を先行し、順を追って付随する部分を改正している。

三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合における公の施設の利用について

問 相互利用施設の利用人数の把握について伺う。

答 今後新たな協定を結ぶに当たり、関係市町村で協議のうえ利用者数の把握方法について研究していきたい。

#### 燕市立幼稚園条例の一部改正

問 燕北幼稚園園舎の耐震性の有無や今後の統廃合の方向性などについて伺う。

答 幼稚園施設の統廃合の方向性については、保護者の意向や地域のニーズ、財政的

なことも考慮し、適切な時期に議会、保護者、地域の皆様に示していきたい。



燕東幼稚園と統合される燕北幼稚園

#### 指定管理者の指定(※)について

##### (燕市小中川公民館)

問 指定に当たり「選定等委員会による管理業務評価結果」と「指定期間5年間の是非」について伺う。

答 地域のコミュニティの醸成に資する観点から、地元の団体から管理を行ってもらうことでさらに多くの方から集まってもらえるような運営に努めていただきたい。また、国が行った全国の自治体での現状調査では、一番多い指定期間が5年間で、70%を占める。

反対討論 社会教育施設は、地域住民の協力を得ながら行政が主体となつて管理運営を行うことが本来の姿であることから、指定管理者の指定に賛成することはできない。

賛成討論 公民館は、地域密着型施設として地域住民のボランティアで運営されている面が強い。今後も行政と連携し、改善すべきところは改善しながらさらなる地域活性化が期待できる。したがって、この件について賛成である。

#### その他

- ・新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更
- ・燕市議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- ・燕市職員の給与に関する条例の一部改正
- ・燕市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ・三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合における公の施設の利用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ・燕市監査委員条例の一部改正
- ・燕市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・令和元年度 燕市一般会計補正予算(第7号)



(※) 会計年度任用職員とは…

今までの臨時職員・非常勤職員が位置づけられる。





# 常任委員会で

・令和元年度 燕市土地取得特別会計補正予算（第1号）

## 市民厚生常任委員会

### 「4項目を審査」

#### 燕市老人センター条例の一部改正

**問** 老人センターの利用状況と使用料金、また、休館日変更に伴う次年度の運営計画などについて伺う。

**答** 主に、吉田地区老人クラブ連合会が主催する各種講座や趣味活動で利用されており、施設の使用料は発生しない。次年度の計画については、今後、施行日の4月までに立てていくことになる。



4月から休館日が変更になります

その他

・令和元年度 燕市一般会計補正予算（第7号）

・令和元年度 燕市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

・令和元年度 燕市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

## 産業建設常任委員会

### 「6項目を審査」

#### 指定管理者の指定について

##### （燕市吉田産業会館）

**問** 樹木の管理など指定管理者の施設の管理体制について伺う。

**答** 市の指導監督が十分ではなかった点があり、反省すべきところもある。今後は、毎月行なっている指定管理者との協議等を通じて、利用者から気持ちよく使っていただけのように、引き続きしっかりと指導監督を行っていききたい。

**問** 指定管理者における防災、減災意識について伺う。

**答** 選定の審査項目にも避難所としての対応が含まれており、今まで以上に防災、減災意識をしっかりと持って取り組んでもらうよう徹底していきたい。



大規模改修も済み、多くの市民から利用されている吉田産業会館

その他

・燕市下水道事業の設置等に関する条例の制定

・指定管理者の指定について

（吉田ふれあい広場）

・市道路線の認定及び変更

・令和元年度 燕市一般会計補正予算（第7号）

・令和元年度 燕市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）



（※）指定管理者制度とは…

期間を設け、民間事業者を含む法人に、公の施設の管理運営を委ねる制度。



# 12月定例会の議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、△は継続審査、×は否決

網かけ( )は、賛否が分かれた議案等です。  
賛成数・反対数、議員の賛否内訳は下の表を  
ご覧ください。過去の賛否内訳も議会ホーム  
ページから見ることができます。



番 号	件 名	審議 結果	ページ	番 号	件 名	審議 結果	ページ
専決 処分	5 専決処分の報告について (令和元年度燕市一般会計補正予算(第6号))	◎		73	燕市立幼稚園条例の一部改正について	◎	P.4
令和元 年度補 正予算	79 一般会計補正予算(第7号)	○	P.3	条 例	74 燕市家庭的保育事業等の設備及び運営に関 する基準を定める条例の一部改正について	◎	
	80 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	◎			84 燕市印鑑条例の一部改正について	◎	
	81 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	◎			63 新潟県市町村総合事務組合を組織する地 方公共団体の数の減少及び新潟県市町村 総合事務組合規約の変更について	◎	
	82 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	◎		そ の 他	68 三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村 並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設 組合における公の施設の利用について	◎	P.4
	83 土地取得特別会計補正予算(第1号)	◎			75 指定管理者の指定について (燕市小中川公民館)	○	P.4
	86 一般会計補正予算(第8号)	◎			76 指定管理者の指定について (燕市吉田産業会館)	○	P.5
	87 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	◎			77 指定管理者の指定について (吉田ふれあい広場)	○	
条 例	64 燕市議会の議員その他非常勤職員の公務災 害補償等に関する条例の一部改正について	◎			78 市道路線の認定及び変更について	◎	
	65 燕市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び 費用弁償に関する条例の一部改正について	◎	P.4		85 和解及び解決金の額を定めることについて	◎	
	66 燕市職員の給与に関する条例の一部改正について	◎			6 天皇陛下御即位を祝す賀詞決議について	◎	
	67 燕市会計年度任用職員の給与及び費用弁 償に関する条例の一部改正について	◎		人 事	6 人権擁護委員候補者の推薦について	◎	
	69 三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村 並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設 組合における公の施設の利用に伴う関係条 例の整備に関する条例の制定について	◎			7 人権擁護委員候補者の推薦について	◎	
	70 燕市老人センター条例の一部改正について	◎	P.5		8 人権擁護委員候補者の推薦について	◎	
	71 燕市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	◎			62 燕市農業委員会委員の任命について	◎	
	72 燕市監査委員条例の一部改正について	◎					

## 各議員の賛否

賛否が分かれた上表の網かけ( )の議案等について、議員別に賛否を公表します。

※○は賛成、●は反対、欠は欠席、棄は棄権。なお議長(丸山吉朗)は採決には加わらない。

議案番号等		議決結果	合 計			チームつばめ			新風みらい					市民クラブ			日本共産党			公明党		大河の会			
			賛成	反対	棄権	柴山唯	岡山秀義	小林由明	田澤信行	中山眞二	山崎雅男	大岩勉	堀勝重	柳川隆	タナカキン	渡邊広宣	宮路敏裕	長井由喜雄	土田昇	樋浦恵美	渡邊雄三	大原伊一	埴 豊	齋藤信行	丸山吉朗
その他	75	可決	14	3		欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	－
その他	76	可決	16	1		欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
その他	77	可決	16	1		欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
補 正	79	可決	13	4		欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	－

## 議会日誌

主な動きをお知らせします

11月 5日	「市民クラブ」「日本共産党議員団」 行政視察(5日～7日)	12月20日	本会議(最終日) 議会運営委員会
11月13日	大河津分水大改造事業促進特別委員会 (長岡市と合同視察)	12月26日	議会運営委員会
11月19日	中越地区市議会議長会	1月14日	議会広報等特別委員会
11月26日	燕・弥彦総合事務組合第2回定例会	1月20日	「大河の会」「公明党議員団(渡邊雄三議員)」 行政視察(20日～22日)
11月28日	議会運営委員会	1月23日	議会運営委員会・全員協議会・第1回臨時会 議員協議会
12月 3日	全員協議会・議員協議会	1月31日	新潟県市議会議長会春季定期総会
12月 4日	議員協議会		
12月 5日	議会広報等特別委員会		
12月10日	本会議(初日)		
12月11日	本会議(2日目)		
12月12日	本会議(3日目)		
12月13日	本会議(4日目)		
12月16日	総務文教常任委員会		
12月17日	市民厚生常任委員会		
12月18日	産業建設常任委員会		

## 視察の受け入れ

11月 5日	佐賀県有田町議会「産業建設常任委員会」
11月14日	愛知県新居浜市議会「地方創生特別委員会」
11月15日	福井県あわら市議会「産業建設常任委員会」





# 一般質問

16名の  
議員が  
聞いた！



12月議会では16名の議員が質問に立ちました。

全質問項目は下記のとおりです。(マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)

\*本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです\*

## **P.8 長井由喜雄** 議員 (日本共産党)

No.1

1. 風水害を始めとした防災・減災対策について
2. 会計年度任用職員制度について
3. 非核平和の取り組みの拡充について

## **P.8 大原伊一** 議員 (大河の会)

No.2

1. 燕市建物系公共施設保有量適正化計画のその後
2. 消費税増税に伴うインボイス制度について
3. 今年産農作物の作柄について

## **P.9 山崎雅男** 議員 (新風みらい)

No.3

1. 台風・水害等の自然災害から身の安全、生活を守るためにについて
2. 高温障害等による農業問題について

## **P.9 齋藤信行** 議員 (大河の会)

No.4

1. 教職員が安心できる職場環境について
2. 農商工の連携について
3. 大河津分水路について

## **P.10 樋浦恵美** 議員 (公明党)

No.5

1. 高齢者予防接種について
2. 食品ロスについて
3. 市民サービス向上について

## **P.10 埴 豊** 議員 (大河の会)

No.6

1. 高齢化社会への対応
2. 教育問題について

## **P.11 土田 昇** 議員 (日本共産党)

No.7

1. 県央基幹病院の今後について
2. 県立吉田病院の今後について
3. 柏崎・刈羽原発の避難訓練について
4. 水道の塔の今後について

## **P.11 堀 勝重** 議員 (新風みらい)

No.8

1. 第2次燕市総合計画について

## **P.12 小林由明** 議員 (チームつばめ)

No.9

1. 環境問題について
2. 中高生の声もまちづくりに

## **P.12 渡邊広宣** 議員 (市民クラブ)

No.10

1. 教育行政について
2. 産業政策について
3. 都市政策について

## **P.13 柳川 隆** 議員 (市民クラブ)

No.11

1. 生活環境について
2. 学校教育について

## **P.13 岡山秀義** 議員 (チームつばめ)

No.12

1. 教育環境の整備について
2. 安心安全な防災まちづくりにについて
3. 地域再生計画について

## **P.14 タナカ・キン** 議員 (市民クラブ)

No.13

1. 須頃郷第1号公園の利活用について
2. 国際交流事業について
3. 児童のスマホについて

## **P.14 宮路敏裕** 議員 (日本共産党)

No.14

1. 市民の暮らしと地域経済について
2. 介護保険事業について

## **P.15 大岩 勉** 議員 (新風みらい)

No.15

1. 市長の政治姿勢について
2. 水道の塔の外壁落下による安全対策整備について
3. 小中学生の教育問題について

## **P.15 中山真二** 議員 (新風みらい)

No.16

1. 公共施設について
2. 教育について



# 防災アプリや回転灯で 防災対応を一步前に



## 問

台風19号は千曲川決壊や県内にも大きな被害をもたらした。防災メールにこだわると進むものも進まない。スマートフォンの普及により新潟県の「新潟防災ナビ」のような防災アプリの検討も必要ではないか。また、防災行政無線の屋外拡声子局に赤、緑、黄色などの回転灯をつけ、屋外にいる人や聴覚障がいを持つ方々に対する災害情報の伝達に活用することを提案するがどうか。

## 答

今後、県の「新潟防災ナビ」の周知に取り組みたいと考ええる。独自のアプリは考えておらず、防災つばめールの登録推進に努めている。回転灯は229カ所設置に数億

円かかる試算も出ており、まず自治会共助の体制をお願いしていく。見物人は非常に危険であると再認識した。関係機関との連携会議のようなものも立ち上がり、対応についても検討されていくと認識しているところだ。



長井由喜雄 (日本共産党)



防災情報を視覚的にも伝えることができます  
(北海道浦幌町の例)

# 公共施設の保有量 適正計画の推進状況



## 問

燕市建物系公共施設保有量適正化計画の進捗状況について。

## 答

分水地区の統合保育園は、令和3年4月に民営化して開園予定。つばみ保育園については、運営事業者選定委員会の補正予算を今議会に計上した。藤の曲公民館は、令和6年度閉鎖し燕庁舎へ移転。併設される藤の曲保育園は、燕東幼稚園・小高保育園の3園を統合民営化によることも園に向け準備中。図書館については、議員提案の中央図書館建設の前倒し効果も検証したい。

## 問

本市における農作物の作柄と高温障害に対する対策について。

## 答

水稲は10月31日現在、作況指数は100で平年並みであるが、コシヒカリに品質低下がある。ほかの作物については、台風や高温による収穫減や品質低下が見受けられた。高温対策については必要な体制づくりを進めたい。

## 問

消費税法のインボイス制度導入による農業への影響について。

## 答

課税事業者である農協や直売所・スーパー・学校給食が農業者の大半を占める免税事業者に支払う消費税相当額を、仕入れ税額控除ができなくなるという影響が出てくると思われる。

農業者だけにかかわらず小規模な免税事業者への影響が懸念されるので、他業種の動きも含め状況を見極めながら国等への働きかけも検討していく。

インボイス制度問題点

■現状

【消費税率課税】	【消費税率課税】
事業者の請求書	小売り事業者の事務処理
品代(税が価格になっている)	販売価格—七入れ品代—消費税=小売り事業者の手取
110円	165円 — 110円 — 5円 = 50円
消費税10円(納税は0円)	販売時消費税15円 — 納品時消費税10円 = 課税額 5円

■インボイス制度後

【消費税率課税】	【消費税率課税】
事業者の請求書	小売り事業者の事務処理
品代(税が価格だったため)	販売価格—七入れ品代—消費税=小売り事業者の手取
110円	165円 — 110円 — 15円 = 40円
消費税0円(納税しないため)	販売時消費税15円 — 納品時消費税0円 = 課税額 15円



大原伊一 (大河の会)







# 大河津分水路増水の安全を守るために



**問** 10月13日午前9時30分氾濫危険水位16・1メートル。

9時50分に分水地区避難勧告発令。午後3時10分、最高水位17・06メートル到達に伴う指定避難所等の受け入れ対応と、高齢者・障害児・障害者等の要配慮者の取り組み内容は。

**答** 各避難所において健康面等状態把握に努め、福祉用具の補充等や感染症予防観点から個別対応や状況に即した受け入れ対応を行った。避難所に来ない要配慮者対応は、必要に応じ避難誘導に努めた。

**問** 午後2時、市内8カ所避難所に1088名、うち分水地区6カ所に1040名が避難した。逆に増水している大河津分水堤防に大勢の見物人が集まったが、対応策は。

**答** 見物人に対し、防災行政無線で立ち退きの呼びかけや立ち入り禁止看板を設置した。平時に市民への周知が大切で、今後対応していきたい。

**問** 市民一人ひとりが自然災害に対する心構えと知識を備え、



山崎雅男 (新風みらい)



最高水位 17.06 m を記録した大河津分水路

いざというときには避難勧告等を待つことなく、状況・情報をもとに自らが考え、適切に行動できるような施策を推進することが必要。市民も防災・減災意識がより高まると思うが。

**答** 防災訓練や出前講座等の開催を通じ、啓発を積極的に図り、防災・減災意識向上を図りたい。



ミチカナ・モンダイヨ・ギンガ・キキマス

# 大河津分水過去最高の水位・避難について



**問** 避難所での名前の記入について。帰るときの対応は。

**答** 避難には職員2名を配置。一時、初めての避難勧告で大勢の避難者で混乱していたと報告を受けている。本来、記入してもらい確認をすべき帰るときへの対応ができていなかった場面もあったと想像している。

**問** 避難勧告解除の防災無線がなかったのは。

**答** 10月13日の21時には約60名の避難者であり、防災無線を使用することで緊急的な避難指示がまた出たという勘違いもあるのではないかと。また、夜の9時過ぎという夜間でもあり、避けた。その分ホームページ、防災つばめメール等で情報発信した。「解除のお知らせ」「避難所運営のあり方」「開設のあり方」など、今後、庁内で問題や課題を含めて検討していきたい。

**問** 産業振興部ができて4年になる。農商工連携にどう取り組んできたか。

**答** これまでも農産物の販路開拓、加工品などの新商品開発



齋藤信行 (大河の会)



堤防より低い越後線鉄橋での越水を防ぐ作業(大河津分水路)

への支援、農業者と市内事業所や福祉施設等との幅広い連携を促進してきた。

例えば、本町きゅうりは加工業者と連携し、新しいみそ漬けの商品を開発。飲食店や調理器具メーカーとの連携で、本町きゅうりのハイボールやレモネードなどが店舗やイベントで提供され人気を博した。今後も農業や商工業の皆さんが連携の輪を広げ、燕ならではの取り組みが進むよう支援していきたい。



# 高齢者予防接種、 食品ロス削減について

## 問

2014年10月から、高齢者の死亡率が高い肺炎予防のための肺炎球菌ワクチンの定期接種が開始された。厚生労働省は肺炎球菌ワクチンの接種率を高めるため、本年3月末までの経過措置として、70歳以上を対象に実施してきた公費助成を、2023年まで延長すると決めたが、市としてどう取り組むのか。また、今年度の未接種者に対し、再通知を行うのか。

## 答

2019年度の新規対象者の65歳の人については個人通知を送り、過去の未接種者の経過措置延長については、広報やホームページ、医療機関へのポスター掲示でお知らせするなど、接種勧奨に努めている。新規65歳の未接種者に対する再通知について、

これまでも行っていない。  
引き続き周知に努めていく。



日本人の死因の5位は肺炎  
(国の人口動態統計より)

## 問

食品ロス削減推進法が2019年10月1日に施行された。2019年度中に政府が策定する基本方針を踏まえ、都道府県と自治体が推進計画を策定することになっているが、推進計画策定の考えを伺う。

## 答

市としては策定したいと考えているが、その際には政府の基本方針、あるいは新潟県版の計画、それらと整合性を図る必要があると考えている。

当面は国の方針、県の動きを注視し、計画策定を進めていきたいと考えている。



樋浦恵美 (公明党)



イツパンシツモンノ・セイゲンジカンハ・ヒトリアタリサンジュツブンデス

# これからの自治会組織 維持に向けて

## 問

昨今、全国的に頻発する大規模災害など、そのような状況下において、燕市の全体の高齢化率は現在30・8%であり、特に中心市街地の高齢化の進行は顕著である。

地域防災の中心であり、行政と地域を結ぶ重要な担い手である自治会長のなり手がいない。行政として、地域と行政を結ぶ要である自治会長のなり手不足への対応をいかにするのか。

また、自治会の存続が困難となる地域の出現が想像されるが、行政としていかなる対応を考えているのか伺う。

## 答

自治会長は役割が多岐にわたることから、仕事をしながら担うことが難しいという現状に加え、定年延長等により、なり手不足に拍車がかかっている。この問題についての決め手はないが、自治会の必要性を認識していただき、何とか自治会内で決めていただいているのが現状である。

行政としては、活力ある自治会を

維持するために、小規模な自治会同士の間などにも視野に入れて、自治会の考えを尊重しながら自治会の活性化に向けて積極的に協力していく。



塙 豊 (大河の会)



活力ある自治会を維持するための対応が必要







## 県央基幹病院と県立吉田病院の今後について



**問**

県央基幹病院について、救急患者の圏域外搬送が一段と増加をしているということ、それから急性期医療の集約化が必要だと、県央基幹病院の役割が明確になったと思う。県央基幹病院の今後について伺う。

**答**

燕市にとって非常に重要な問題であり、県央圏域の救急患者の圏域外への搬送、これが一段と増加している実態や不足している医師確保の必要性からも、その整備が急務であるということは言うまでもない。こつとした県央基幹病院の早期開院に向けた強い思いについては、県央の各市町村長同様である。

**問**

県立吉田病院の早期建て替えの実現として、市として今後どのように対応していくのか伺う。

**答**

県立吉田病院は、県央圏域のみならず新潟市や長岡市の一部の住民の方々も利用されている。



県立吉田病院



土田 昇 (日本共産党)

今後も県央医療圏の完結型医療体制において、高度急性期医療を提供する県央基幹病院とその後方支援病院として重要で大切な病院である。燕市の立場として、県立吉田病院の早期建て替えを訴えていく。

## 第2次燕市総合計画について



**問**

少子高齢化と人口減少を踏まえた今後の行財政運営について伺う。

**答**

第2次総合計画の中間評価に基づく見直し素案をお示ししたが、計画に掲げた各種取り組みを進めたとしても、少子高齢化と人口減少という大きな流れをとめることは残念ながら難しいものと考えている。今後も人口減少に伴う市税の減収などが見込まれ、厳しい財政状況が続くものと認識しており、引き続き3つの人口増戦略をより効果的に進めていく必要がある。

また、人口減少を前提として、方向性を定めた建物系公共施設保有量適正化計画に基づく施設の統廃合や、総合計画同様に見直しを進めている行政改革推進プランに基づく事業見直しなども取り組むことにより、人口が減少しても持続可能なまちづくりを進めていかなければならないと考えている。

**問**

少子化対策の一つとして、「子育て支援のさらなる充実」が重要ではないかと考えるが、当局の意見を伺う。

**答**

このままでは、人口減少が段々大きくなるものと思われるので、今後も子育て環境の整備という部分には、十分に力を入れていきたいと考えている。



堀 勝重 (新風みらい)



燕市が持続可能なまちであり続けるために！





# 中高生の声も まちづくりに

**問**

かねてより、中高生などから自習室開設を求める声が届いている。学習環境の向上を目指し、「駅チカマチナカ」施設である旧燕市役所などの活用を含め、自習室を増設していくべきではないか。

**答**

自習室の確保については、将来的な施設のあり方の中で検討していきたい。



その活用が期待される「駅チカマチナカ」施設の燕庁舎

**問**

燕市はものづくりのまちであると同時に、産業に由来する環境汚染のリスクは常に存在



小林由明 (チームつばめ)



**答**

産業のブランドイメージを守り、市民の不安解消のためにも、真剣に取り組むべき課題である。燕市としては、環境部門と産業部門の担当課に業界団体を加えたチームを立ち上げ、企業が取り組む設備改善への支援など市独自の対策を進めるとともに、適切な情報発信も重要であると認識している。

産業のブランドイメージを守り、市民の不安解消のためにも、真剣に取り組むべき課題である。燕市としては、環境部門と産業部門の担当課に業界団体を加えたチームを立ち上げ、企業が取り組む設備改善への支援など市独自の対策を進めるとともに、適切な情報発信も重要であると認識している。

# 児童・生徒の学力状況 と今後の対応策は

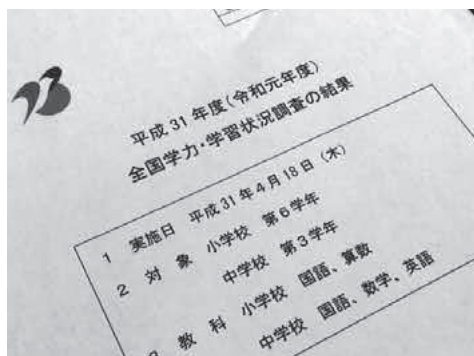
**問**

全国学力・学習状況調査による本市、児童生徒の学力状況の認識と課題について伺う。

**答**

令和元年4月実施の調査の平均正答率は、小学校では国語、算数とも県平均と同程度。中学校は国語、数学、英語は2ポイント程度下回った。平成24年度以降改善傾向にあったが、中学校では県平均を下回り厳しい結果となった。

調査結果の分析として、5段階で3段階にいたるべき子がまだ2段階に多い。また、勉強が好きと回答した児童生徒は正答率が高く、学習時間



全国学力・学習状況調査の結果

**問**

では1時間から2時間勉強している生徒の回答率が3時間以上している子より高い傾向が見られた。今後、家庭学習のやり方や放課後学習教室、個別指導体制の充実に図ってきたい。

**答**

リーマンショックの緊急経済対策、平成26年の消費税対応とした住宅リフォーム助成の今後について伺う。

**問**

経済対策としての役割は十分に果たしたと受けとめているが、多くの行政需要、要望がある中、一定程度見極めた上で周知、有効期間を設けたり段階的に廃止したり、所得制限を設けたりして選択肢をどうするか、来年度予算編成の中で検討していきたい。



渡邊広宣 (市民クラブ)





# 悪臭対策と中学の体育祭での暑さ対策のこと



**問**

悪臭の発生源は特定されていて、新潟市西蒲区役所の職員は、年に数回の技術者と同じ、岩室の養豚場に行つて改善のアドバイスをしている。

ならば、年一回くらいそのときに燕市の職員が同行したらどうか。

**答**

これまでは同行したことはないが、今後は新潟市と相談し、同行するかどうかを検討する。

**問**

9月7日、市内の5校の中学校でいつせいに体育祭が行われたが、34名の生徒が体調不良で保健室に担ぎこまれた。

来年行われるオリンピックでさえ、競歩とマラソンの会場を札幌に移した。中学校の体育祭の場合、会場は移せないのに、実施日を変えるしかない。実施日の変更をどう思われているか。

**答**

今年度の体育祭が終わつた後の校長会で、期日を早めたり、遅らせることができるかという話を教育委員会から出した。

しかし、テストや部活の大会の関係など、さまざまなのがあり、この時期にしかできないのが現状である。



吉田中学校の体育祭での大玉送り競技



柳川 隆 (市民クラブ)

それでも「1週間でも動かせるのであれば検討してほしい」という話を現在、校長会において投げかけているところである。



イッパンシツモンハ・ギインホンニンガ・ヨウヤクシタゲンコウヨ・ケイサイシティマス

# 子どもの健全な成長と安全に通学するために



**問**

小中学生が通学するときのランドセルやカバンの重さを懸念する声を受け、昨年より当市においても家庭学習で使用しない教科書や、資料集等を学校にため置く「置き勉」の措置をしているが、いまだに「重い・変わっていない・事故の危険性」など多くの声を聞く。現状はどうか伺う。

**答**

市教育委員会では、昨年9月の文部科学省の通知を受け、2回にわたり校長会を通じて積極的に「置き勉」に取り組むよう指導してきた。11月末時点で市内の全ての小中学校で「置き勉」が行われている。

**問**

学校によって方針に違いがあるようだが、どのように指導しているのか。また、保護者などからの声は市教育委員会に寄せられていないのか伺う。

**答**

学校長の判断で「置き勉」の方針は決めてもらっている。保護者などから直接の声は市教育委員会には届いていない。

**問**

ランドセルやカバンの重さで肩こりや頭痛を発症したり、通学中にカバンの重さで自転車

転倒したりするなど、身体の成長や命の安全のためにも「置き勉」改善が必要と考えるが、今後の対策を伺う。

**答**

「置き勉」のやり方について、各学校が適したものになっているか、再度確認し改善できるところがあれば改善していく。



岡山秀義 (チームつばめ)

小学校1年生  
毎日の持ち帰りの重さ (単位: g)

【教科書以外】

ランドセル・筆記用具	1,425
水筒	950
計①	2,375

【教科書】

	月	火	水	木	金
1限目	国語 772	国語 772	国語 772	国語 772	国語 772
2限目	算数 747	体育 276	算数 747	音楽 160	算数 747
3限目	体育 276	算数 747	音楽 160	国語 208	書写 229
4限目	生活 276	算数 747	体育 276	学活 208	国語 208
5限目	国語 772	道徳 276	生活 276	国語 208	国語 208
計②	1,795	1,795	1,955	1,140	1,956
合計①+②	4,170	4,170	4,330	3,515	4,331





# 須頃郷第1号公園の 今後の活用について



**問** 燕三条駅のすぐ脇にある須頃郷第1号公園は広大な敷地面積を擁しているが、現状は草が生い茂っている状態である。管理について伺う。

**答** この公園は、須頃郷地区土地区画整理事業により造成された未供用の都市計画決定された公園である。燕市、三条市の境界線上に位置しているため、両市で維持管理協定を締結し、除草等の維持管理については三条市が行い、燕市が協定書に基づいた管理費を負担している。

燕市、三条市を合わせた合計面積は約1万6500平方メートルで、燕市地籍は約1万500平方メートル。公園の経過年数は、昭和61年に都市計画決定され、土地区画整理事業により平成4年までに造成が完了しており、約27年が経過している。

**問** 駅の隣で、高速インターを降りたらすぐの二等地中の一等地。この公園から地場産センターまで約700メートル。提案だが、県央のあの周辺は慢性的に駐車場が不足している。公園としての整備



タナカ・キン(市民クラブ)

もいだが、今後の活用について両市で検討し、いろいろな考えの中で何が最善なのかを決定すればいいと思うが。

**答** 一等地である公園の活用にについては、両市が共同で取り組むことにしたいと思うので事務レベルで話し合う、情報交換することから始めたい。



右手に見える建物が燕三条駅



イッショニ・ツバメシノミライヨ・カンガエマセンカ？

# プレミアム付商品券の 申請促進手立てを



**問** 消費税10%増税による家計の厳しい負担増を少しでも下支えるために、国による住民税非課税及び3歳未満児のいる世帯を対象とした、2万5000円分のプレミアム付商品券施策の取り組み状況について。

**答** 7月上旬から申請書類を対象者に送付し、順次受け付け、引換券を発送している。11月末時点での住民税非課税者の申請は38%程度であり、利用促進を図るために毎月の広報に掲載し啓発に努めている。他自治体では申請が年末までのところもあるが、本市では2月28日まで受け付けを行う。

**問** 対象者の中には、500円単位の商品券であることや処方箋の薬代に使えるのか。また、近くのお店で使えるのかなど、よくわからないために申請しなかったという人がいる。当局として申請が低調である原因をどう受けとめているのか。また、責任を持って申請促進の手立てを取るべきと思うが。

**答** 申請手続の煩雑さを感じる方が少なくないと思う。ま

燕市プレミアム付商品券取扱店舗一覧【50音順】		
店舗住所	業種	
ノ山1丁目127	その他小売	眼鏡、補聴器
燕市プレミアム付商品券取扱店舗一覧【業種別】		
店舗住所	業種	
本町2丁目5-2	理美容	カット、カラー、パーリンバマ

取扱店舗は50音順と業種別の2種類

た、取り扱い店舗を同時募集中のため申請書類の送付時には、店舗のお知らせをできなかったことも影響したと思われる。そのため、引換券発送時には店舗一覧表を同封している。広報への掲載に当たり、見やすさをひと工夫加えてお知らせしていきたい。



宮路敏裕(日本共産党)







# SNS利用による 小中学生教育について



**問** 県央基幹病院の早期開設・  
燕労災病院・県立吉田病院  
の見直しに向け、燕市として市民に  
対しての情報提供をすべく最大限  
の努力、行動すべきでないか。

**答** 知事に直接意見を述べるな  
ど、要望書の提出も含み全力  
で取り組み、医療体制の整備に向け  
ていく。

**問** 水道の塔の外壁落下が続い  
ているが、損害賠償、安全  
対策はされているのか。

**答** 外壁の剥落、クラック、浮き  
等で3回補修し、自家用車の  
破損修理は全額補償した。

**問** スマートフォンでのSNS利  
用による事故事件が勃発し  
ているが、学校ではどのような注意  
指導をされているのか。

**答** ネットで知り合った人には会  
わない、実名や個人情報をお  
えない、SNSの危険性について家  
庭でのルールづくりを指導してい  
る。学校へのスマートフォン持参は  
許可していない。

**問** 少年野球チームが利用して  
いる小中川コミュニティグラ

ウンドの今後の活用について伺う。

**答** 市の公共施設保有量適正化  
計画の個別計画において、今  
後具体的に示す。なお、計画の策定  
に当たっては、近隣の学校グラウン  
ドを受け皿として、引き続き活動で  
きるよう配慮していく。



大岩 勉 (新風みらい)

小中学生のスマートフォン所持状況			
◆小学校 6 年生			
全国	63.3%	燕市	54.0%
◆中学校 3 年生			
全国	83.9%	燕市	86.1%

平成 29 年度全国学力学習状況調査の結果から

# これでいいのが 公共施設の収支と管理



**問** ビジョンよしだの改築設備  
更新と財源について。

**答** 築25年が経過し、大規模改  
修の時期に来ている。年間15  
万人以上が利用しており、燕市建物  
系公共施設保有量適正化計画にの  
つと、吉田地区ガス事業譲渡清算金  
とふるさと納税制度を活用したクラ  
ウドファンディングにより集めた寄  
附金で行いたい。まだ全庁的な議  
論には至っていない。

**問** ビジョンよしだの収支状況  
と、最近増えてきたスポーツ  
ジムなどの民間と競合してまでやる  
意義について。

**答** 年間約1億1000万円の経  
費がかかり、利用料5000  
万円を引くと6000万円の収支マ  
イナスだが、多くの人が利用し、健  
康増進に役立っている。

**問** 民間活力と民間のノウハウ  
を活用する意味で指定管理  
者制度に移行したが、民間の力を  
出し切っていないように感じるが。

**答** 6000万円の赤字を見ると  
出し切っていない部分もあ  
り、今後調査研究を進めていく。

**問** 指定管理者制度が10年たち、  
固定化、既得権化している  
ように見受けられるが。

**答** 応募者の減少により競争原  
理が働かず、同一管理者が継  
続されている。管理者の固定は悪い  
とは考えないが、管理運営がマンネ  
リ化し悪影響が生じないよう対処す  
る。



中山真二 (新風みらい)



充実した設備のビジョンよしだ





原爆の惨劇を伝える原爆ドーム（広島市）



子どもたちの大切な居場所となっている

見て・聞いて・  
学んで実践！



視察レポート

### 総務文教 常任委員会

#### NPO法人「こどもの里」(写真①)

「こどもの里」は、さまざまな困難を抱えた子どもたちに寄り添い活動する「子どもの居場所」である。「ひとりではない」「貧困と虐待と一緒に考え、子どもと親にしっかりと寄り添うことが大切」など考えさせられる視察であった。

#### 広島平和記念資料館(写真②③)

中心に、本市で平成20年から行われている「広島平和記念式典派遣事業」と同じ行程で視察を行った。今後も事業の継続により、被爆体験講話など実際に現地に行つて直接「見る」「聞く」「考える」そして「伝えていく」ことを期待する。

#### 広島県呉市では、地域住民が誇りを持ち安心して生活できる地域とするため「地域協働型」のまちづくりを推進している。本市においては、活動中である「地域支え合い活動」など地域と密着した協働の向上を目指し、住みやすい燕市にしていきたい。

### 市民厚生 常任委員会

#### 兵庫県加東市(写真④)では、本市と同様に手話に関する条例を制定しており、市独自の講座の開催やさまざまな施策を展開している。講座等を受講し手話を学んだ参加者から、1回限りではなく継続して取り組んでもらうことが課題とのことだった。

3常任委員会と議会運営委員会では、他市のさまざまな先進事例、施策等の視察を行っており、市へ事例等を紹介したりするなど市政の発展に役立てています。

#### 京都府亀岡市は、マイナンバーカードを活用して、クレジットカード会社等から発行されたポイントを活用できる事業を行っている。各自治体の取り組みを参考に、当市においてもカードの交付促進を進めていく必要があると感じた。

#### 大阪府松原市は、ふれあい収集(ごみ出し支援)事業は、収集場所までごみを出せない高齢者又は身体の不自由な一人暮らし世帯を対象に玄関先まで収集に伺うものである。高齢者世帯のごみ回収がスムーズになったほか、鳥獣被害防止などの効果があるという。

委員会と視察日	視察地	目的
総務文教常任委員会 (10月7日～9日)	大阪府大阪市 (NPO 法人こどもの里)	「子育て支援事業」について
	広島県広島市 (広島平和記念資料館)	「広島平和記念式典派遣事業関連施設を中心とした視察」について
	広島県呉市	「ゆめづくり地域協働プログラム事業」について
市民厚生常任委員会 (10月8日～10日)	兵庫県加東市	「手話言語条例に基づく取り組み」について
	京都府亀岡市	「マイナンバーカードの普及促進・活用の取り組み」について
	京都府京都市(風伝館)	「リサイクル事業、環境問題等に関する取り組み」について
	大阪府松原市	「ふれあい収集(ごみ出し支援)事業」について

燕市議会には、総務文教(7人)・市民厚生(7人)・産業建設(6人)の3つの常任委員会があり、委員の任期2年です。本会議で提出された議案や請願は、担当(所管)する委員会で詳しく審査します。





産業建設⑤



広島市にとって大切な太田川放水路

市民厚生④



視覚障害について理解を  
広める取り組み（加東市）

総務文教③



平和記念史料館で  
被爆体験講話を聞く（広島市）

産業建設⑥



現在でも復興工事が行われている  
土砂災害現場（広島市）

産業建設⑦



橋脚ごと流された現場（広島市）

議会運営⑧



模擬選挙のためのポスター（可児市）

議会運営⑨



「市民フリースピーチ制度」  
について説明を受ける

産業建設  
常任委員会

太田川河川事務所（写真⑤）

⑥⑦において、約50年前に完成し、利水や治水などの役割を果たしている太田川放水路を視察した。本市においては、現在拡幅工事を行っている大河津分水路があり、参考にしていきたい。

広島県江田島市では、新しい農業としてオリーブ栽培に取り組んでいるのではなく、耕作放棄地の解消に重点を置いており、「江田島オリーブ」としてブランド化に取り組んでいる。「ブランド化」というキーワードは、本市においても重要な視点である。

広島県東広島市は、公的な産業団地が19カ所あるが、すべて完売となっている。交通の利便性、インフラ整備状況、用地取得の容易性、収支、経済波及効果など7つの項目を基本として産業用地を確保している。

議会運営  
委員会

岐阜県岐阜市で行われている

「子ども議会」は、議会改革というより小学生のキャリア教育に重点を置いた事業であり、参加した小学生のその後のキャリア形成にも影響を及ぼすのかという視点は、本市の事業にも必要と思われる。

岐阜県可児市（写真⑧）では、「高校生議会等」と「ママさん議会等」の2つの地域懇談会を行っている。「地域再生の二環」として議会がこの事業を行っており、市政が市民のためにあることを実感してもらう取り組みである。

愛知県犬山市（写真⑨）の「市民フリースピーチ制度」は、平成30年3月定例会から始めたもので、市民が議場で市政に関する発言を5分以内で議会に対し行うものである。議会や選挙への関心を持ってもらうという点では、糸口となる取り組みである。

委員会と視察日	視察地	目 的
産業建設常任委員会 (10月9日～11日)	広島県 広島市 (国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所)	「太田川放水路事業」「広島土砂災害、西日本豪雨等の被災地視察」について
	広島県江田島市	「オリーブブランド化」「空き家バンク」「おためし暮らし制度」等について
	広島県東広島市	「産学金官連携の取り組み」「産業用地の確保」等について
議会運営委員会 (10月28日～30日)	岐阜県岐阜市	「子ども議会」について
	岐阜県可児市	「議会改革（地域課題懇談会）」について
	愛知県犬山市	「市民フリースピーチ制度」について

議会運営委員会は、円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・審査をし、意見調整などを行います。委員の任期は2年、定数は8人以内です。（現在は7人）



# 3月定例会の予定

会期：3月2日～19日

傍聴は傍聴できます。



日	月	火	水	木	金	土
	2/17 請願・陳情 受付締切(17:00)	18	19 議会運営委員会	20	21	22
23	24	25 全員協議会	26 全員協議会(予備日)	27 開始時間はすべて 「午前9:30」です	28	29
3/1	2 開会日 本会議 施政方針・議案上程・ 委員会付託・一般質問	3 (休会)	4 (休会)	5 本会議 一般質問	6 本会議 一般質問	7 (休会)
8 (休会)	9 本会議 一般質問	10 総務文教 常任委員会	11 市民厚生 常任委員会	12 産業建設 常任委員会	13 予算審査 特別委員会	14 (休会)
15 (休会)	16 予算審査 特別委員会	17 予算審査 特別委員会	18 (休会)	19 閉会日 本会議 常任委員長報告・質疑・ 討論・採決	20	21

傍聴に関することは、燕市議会のホームページをご覧ください、  
議会事務局(TEL 0256-77-8341 FAX 0256-77-8343)までお問い合わせください。

マークのついている日は、インターネットで議会映像のライブ中継をしています。  
手話通訳による傍聴の予約は、傍聴したい日の1週間前までに燕市議会事務局までどうぞ。

## 編集後記

前期2年間離れていましたので、51回目の編集作業です。合併当初から表紙の1枚写真や組写真を担当しましたが、時も流れ懐かしく感じます。写真1枚で表現することの難しさ、そして子どもたちの写真は掲載にも了解が必要という時代の流れもありました。さらなる変化のためにも皆さんの声をお寄せください。(長井由喜雄)

### 議会広報等特別委員会

委員長：中山 真二  
副委員長：樋浦 恵美  
委員：柴山 唯  
岡山 秀義  
田澤 信行  
タナカ・キン  
長井由喜雄  
齋藤 信行

発行責任者：丸山 吉朗(議長)

## やっと取り替えられた 庁舎地下の免震用オイルダンパー

製造メーカーによる免震用オイルダンパーの不正発覚から約1年。

12月10日に市役所庁舎地下に設置されていた免震用オイルダンパー16本の取り替えが完了しました。



▲取り替え工事の視察  
▲庁舎を陰で支えている免震用オイルダンパー

## 今号の表紙

2月14日はバレンタインデー。これでも若いころは友だちとチョココレートの数を競ったものであるが、最近はサツパリである。若い女性は本当にチョコレートを配っているのか？ よけいな心配をしてしまう。晩婚化が進む中、国を挙げてバレンタインデーを応援したらどうだろう。イケメンの芸能人を起用して。チョコをくれた女性が可愛く見えるなんてCMはどうだろう。今では友達同士で交換するものだが、その流れでオヤジのほうにもチョコが回ってきたらな～。なんてね。